

宇治キャンパスで活動されるみなさま

宇治キャンパス新型コロナウイルス対策本部長

塩谷雅人

新型コロナウイルスの感染はますます広がりを見せており、全国の感染者数も1万人に達する勢いです。宇治キャンパスでは複数部局が集まって教育研究活動をおこなっており、この難局に取り組むため部局を越えて宇治キャンパス新型コロナウイルス対策本部を設置しています。

京都大学では新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う活動制限のガイドラインが提示されており、昨日(4月17日)京都府からの施設の使用制限の要請を受けて、対応の一層の強化を図るため各カテゴリーの対応レベルが2から3に引き上げられました。

宇治キャンパスの対策本部でも今後の対応について検討しましたが、緊急事態宣言下でも感染者の拡大が容易に治まらない状況を見ると、また国の基本的対処方針である「最低7割、極力8割」の接触機会の低減に資するためにも、さらに踏み込んだ(レベル4相当をも見据えた)対応を今からとっておくことが必要であるという認識に至っています。

宇治地区構成員のみなさまには、教育、研究、運営に関わる活動に制限が加わることとなりますが、これまで以上の緊張感を持ち行動していただくことによって、自分自身の命・健康を守るとともに社会を守ることにご協力をお願いします。

(参考) 新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う活動制限のガイドラインにおける対応レベルの引き上げについて

http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/about/foundation/coronavirus/documents/200417_1.pdf